

# 令和6年度 事業計画 (案)

令和6年7月2日

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 総会

## 目 次

### 1 背 景

- (1)新・宮城の将来ビジョンの体系
- (2)宮城県の製造品出荷額等の推移

### 2 令和6年度の活動方針等（案）

- (1) 令和6年度の活動方針等
- (2) 事業体系
- (3) 令和6年度基本方針
- (4) 令和6年度重点3分野の取組方針
- (5) 事務局体制

### 3 令和6年度 事業計画概要（案）

- (1) 総会・講演会・交流会、幹事会、事業企画ワーキンググループ
- (2) 基盤事業
- (3) 主要スケジュール

### 4 令和6年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業



# 1 背景

(1)新・宮城の将来ビジョンの体系

(2)宮城県の製造品出荷額等の推移

# 1 (1)新・宮城の将来ビジョンの体系

## ◇県政運営の理念

富県躍進！ “PROGRESS Miyagi”～多様な主体との連携による活力ある宮城を目指して～

## ◇持続可能な「未来」づくりに向けた横断的な視点

### 「人」づくり

持続可能な未来を担う子どもを社会全体ではぐくむとともに、誰もがその人らしく活躍できる環境を整備するなど、富県躍進を支える「人」づくりを推進します。

### 「地域」づくり

地域の特色や資源を生かしながら、「しごと」や「くらし」の質を高め、魅力あふれた持続可能な「地域」づくりを促進します。

### イノベーション

先進的技術の活用や異分野との融合など、これまでにない新しい視点により、デジタル化の推進や新産業の創出、地域課題の解決につながる「イノベーション」を促進します。

## SDGsの推進

## ◇新・宮城の将来ビジョン(2021～2030)

### 基本方向

### 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進

社会全体で支える宮城の子ども・子育て

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり

強靱で自然と調和した県土づくり

### 関係取組

●産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出

●宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興

●地域の底力となる農林水産業の国内外への展開

●時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備

●時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用

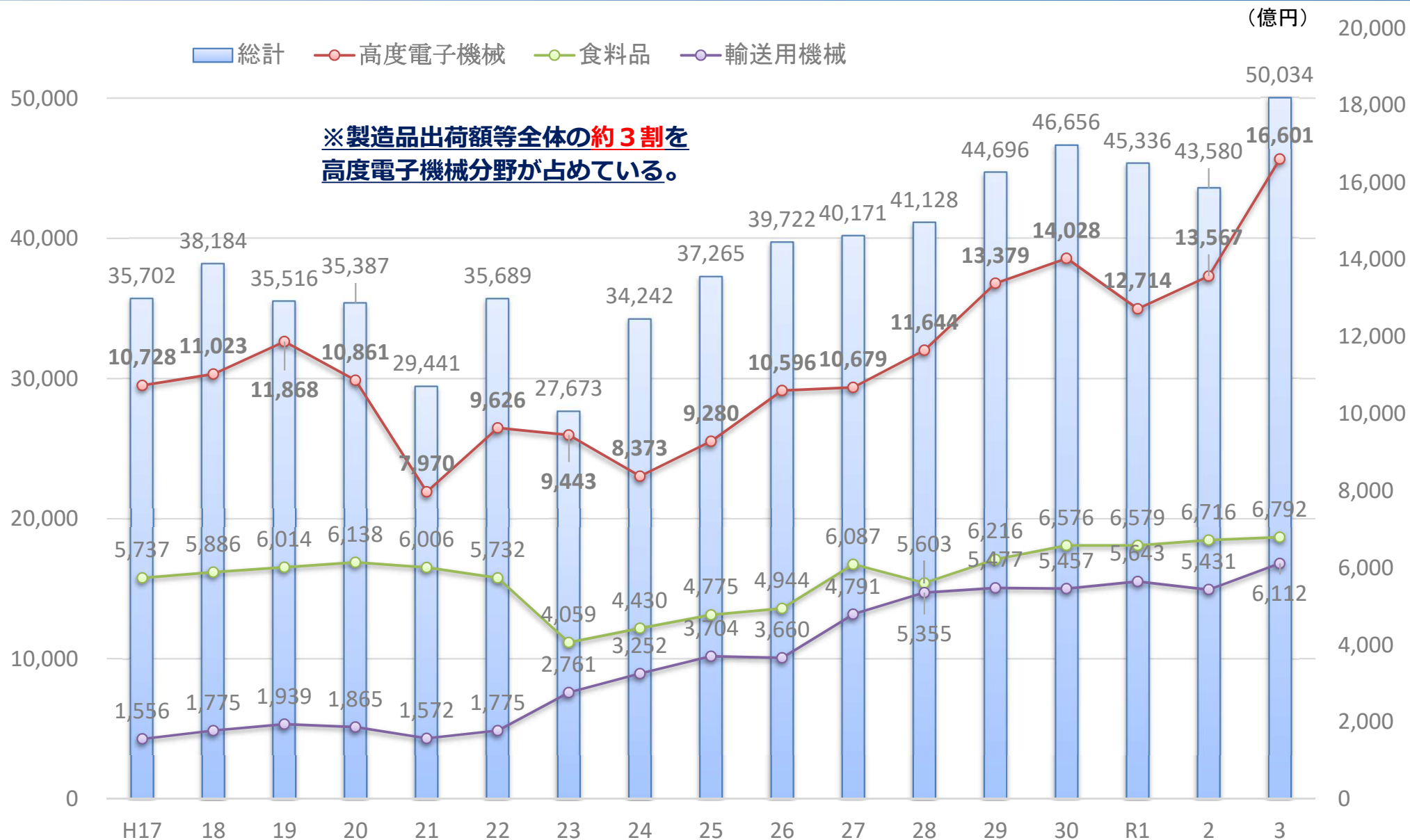
8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



# 1 (2) 宮城県の製造品出荷額等の推移



※R2までは工業統計調査、R3以降は製造業事業所調査データにより作成。

工業統計調査は4人以下の事業所は対象外であったが、製造業事業所調査では全事業所が対象となるため、正確な比較はできない。



## 2 令和6年度の活動方針等（案）

- (1) 令和6年度の活動方針等
- (2) 事業体系
- (3) 令和6年度基本方針
- (4) 令和6年度重点3分野の取組方針
- (5) 事務局体制

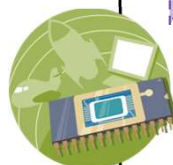
# 2 (1) 令和6年度の活動方針等

## 【目的】

富県宮城の実現に向けた、地域の一体的取組による高度電子機械産業の活性化

## 【背景】

- ① 大手電機・電子部品メーカーとの関係で培ってきた精密部品加工技術基盤の存在



- ② 東北大学をはじめとする次世代技術シーズと産学連携環境の充実



- ③ 地域企業の新市場への参入意欲の向上



- ④ 変化する社会情勢への対応（人材不足、物価高騰、原材料不足等）

## 活動方針

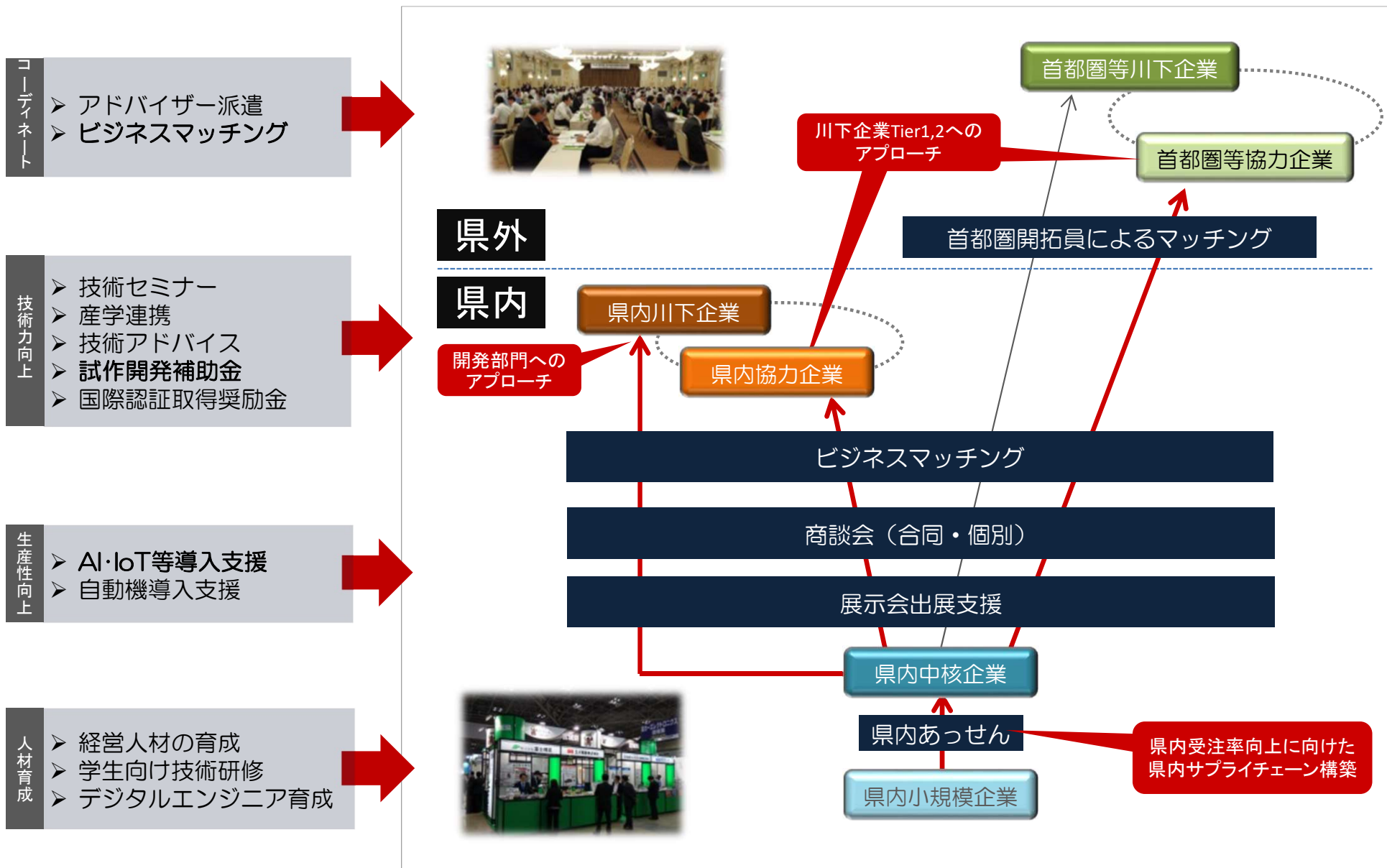
- ◆ 高成長・高付加価値市場への参入を実現する地域中核企業の創出・地域内ネットワークの構築
- ◆ 社会情勢に対応した経済活動と強靱で持続可能な企業体制の構築
- ◆ 魅力ある企業の創出、質の高い雇用の創出

## 【狙い】

- ① 高度電子機械産業の振興に向けた会員の意識醸成
- ② 相互理解、連携交流の促進による会員ネットワークの構築・強化
- ③ 高成長・高付加価値市場への参入の実現及び関連企業の集積促進
- ④ 地域連携（産産連携・産学連携）、技術高度化、研究開発の推進
- ⑤ 宮城を中核とした東北地域における高度電子機械産業の振興・発展  
[広域連携]
- ⑥ 地域一体となった産業人材の育成
- ⑦ 製造現場のデジタル化推進による新規取引先の獲得や生産性向上



# 2 (2) 事業体系





## 2 (3) 令和6年度 基本方針

### 取引創出・拡大に向けた営業力・競争力の強化

- ✓ 様々なマッチング機会を活用した国内外からの新規受注獲得と新たなマッチングツールの確立
- ✓ 国や川下企業等の成長戦略を踏まえたサプライヤー支援
- ✓ 川下企業の研究開発部門や首都圏等川下企業のTier1、2へのアプローチを強化
- ✓ 国際認証取得や試作開発補助金などの積極的な活用

### 地域連携による技術高度化、人材育成

- ✓ 交流機会の創出とネットワーク構築支援
- ✓ テクスタ宮城との連携による新たなイノベーションの創出
- ✓ 次世代放射光施設「NanoTerasu」を活用した技術開発等の検討
- ✓ 産業支援機関・団体等と連携した若手経営者のネットワーク形成支援
- ✓ 産学官連携による地域一体となった産業人材の育成

### 中小製造業のデジタル化・グリーン化の推進

- ✓ 生産性向上のツールであるAI・IoT、ロボット等の導入支援（地元IT企業とのマッチングや“身の丈”IoTの活用支援など）
- ✓ デジタル技術を活用した生産性向上等の成功事例の共有と横展開
- ✓ 再エネ・省エネ設備の積極導入による物価高騰への対応、グリーン化の取組を通じた企業価値の向上

## 2 (4) 令和6年度 重点3分野の取組方針

### 半導体

- 大手半導体製造装置等メーカーの研究開発部門やtier1との取引拡充
- 大手半導体製造メーカーやその関連企業と県内企業の協業促進
- 東北大学との産学連携による次世代技術市場への参入促進
- 生産性・品質向上による競争力強化

### エネルギー

- リチウムイオン電池活用促進をはじめとした、新エネルギー関連設備等の開発
- 特に再生可能エネルギー・省エネルギーに資する技術開発への支援を強化
- 再生可能エネルギー施設産業への参入支援や県内サプライヤーの構築

### 医療・健康機器

- 薬事対応、国際認証取得、試作開発等を通じた事業化支援
- 大手メーカー等とのマッチング機会の提供
- 医療現場ニーズを活用した医療分野への参入機会の創出

### 航空宇宙

- エンジンメーカー等のtier1、tier2への継続したアプローチ（民間機・防衛関係の外注ニーズの収集、共同受注体制の在り方検討）
- 航空機需要の回復に伴う急激な発注案件への迅速な対応
- 宇宙産業、空飛ぶクルマ・物流ドローンビジネスの調査研究や参入機会の創出

## 2 (5) 事務局体制

メンバー	人数	役割
参与(高度電子技術産業集積担当)	1名	■ 全体総括／協議会活動との調整
高度電子機械産業振興コーディネーター	2名	■ 各プロジェクト事業の運営・調整 ■ 企業発掘・課題・ニーズ収集、伴走型支援調整
高度電子機械産業振興アドバイザー	2名	■ 市場参入に向けた指導・助言
産業技術総合センター担当職員	適時	■ 技術支援、関係機関との調整 ■ 競争的資金の獲得に向けた情報収集・支援等
新産業振興課担当職員	5名	■ 協議会運営事務

### 3 令和6年度事業計画概要（案）

(1) 総会・講演会・交流会、  
幹事会、事業企画ワーキンググループ

(2) 基盤事業

①市場・技術セミナー

②展示会出展支援

③取引創出・拡大

④情報発信

⑤他団体との連携

⑥人材育成

⑦その他

(3) 主要スケジュール

### 3(1) 総会・講演会・交流会、幹事会、事業企画ワーキンググループ

#### ① 総会・講演会・交流会（みやぎ自動車産業振興協議会、とうほく自動車産業集積連携会議と共催）

月 日	令和6年7月17日(水) 15:00～18:40
場 所	仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山無番地)
内 容	ア 総 会 (みやぎ高度電子機械産業振興協議会・みやぎ自動車産業振興協議会の総会は書面審査を予定) イ 講演会 15:50～17:00 演題:「(仮題)トヨタの電動化戦略と仕入先に期待したい事」 (展示室1・2) 講師:トヨタ自動車株式会社BEVファクトリー 主査 人見 真央氏 ウ 交流会 17:10～18:40 軽食を交えた交流会(会員制) (展示室3)

#### ② 幹事会等

第1回	5月16日(木)	令和5年度事業実績、令和6年度事業計画(案)等
役員ヒア	8月上旬～10月中旬	幹事企業訪問(今後の協議会事業についてヒアリング)
第2回	12月17日(火) or 12月19日(木)	事業進捗状況、令和7年度事業方針 等

#### ③ 事業企画ワーキンググループ

第1回	10月下旬～11月上旬	事業進捗状況、令和7年度事業方針 等
第2回	3月下旬	協議会活動の方向性検討

## 3 (2) 基盤事業

### [①市場・技術セミナー]

重点分野及び新産業分野の市場・技術理解の促進により、取引拡大や参入機会の創出を図るなどを目的として、前年度アンケート結果等を踏まえながら、計画的、かつ、継続的に開催（関係機関・団体、学術機関等とも連携・共催し、他テーマでも積極的に開催）

分野	テーマ	区分	内容(予定)	開催時期 (予定)
全体	営業力強化	拡充	展示会出展者のブース対応や接客のスキルアップ支援	5月、6月、7月
	生産改善、AI・IoT	継続	①生産改善の取組事例 ②市場及び技術の最新動向 ③導入事例紹介	9月、2月
	3Dプリンター	継続	①関連産業の最新動向 ②3Dプリンターの生産現場における活用	7月、10月、2月
	自動化、ロボット	継続	自動化、ロボット導入支援	12月
	デジタル化推進(DX)	継続	①有識者によるDX推進に関する基調講演、マッチング等 ②階層ごとのセミナー、若手社員対象のワークショップ等	①9月～12月 ②9月～3月
半導体	半導体基礎	継続	半導体及び半導体製造装置の基礎	6月
	半導体分野市場動向	継続	半導体製造装置及びデバイス技術	11月
エネ	エネ分野市場動向	継続	脱炭素、省エネ・再生エネ、Liイオン電池 等	1月
医療	医療分野市場動向	継続	川下企業又は参入企業からの講演	10月
航空 宇宙	航空宇宙市場動向	継続	川下企業又は参入企業からの講演	11月
	空飛ぶクルマ・ドローン市場動向	継続	川下企業又は参入企業からの講演	9月

### 令和6年度出展計画

対象	名称	区分	日程	場所	小間	募集枠
全体	第29回機械要素技術展 (日本ものづくりワールド)	継続	6/19～21	東京ビッグサイト	3	11社 募集終了
	第39回ネプコンジャパン (第15回微細加工EXPO)	継続	1/22～24	東京ビッグサイト		募集予定
エネ	第13回ふくしま再生可能エネルギー産業 フェア(REIFふくしま2024)	継続	10/17～18	ビッグパレットふくしま		募集予定
半導体	セミコン・ジャパン2024	継続	12/11～13	東京ビッグサイト		募集予定 東北ブースで出展予定
医療	メディカルクリエーションふくしま2024	継続	9/27～28	ビッグパレットふくしま		数社程度 ～5/17募集

# 3 (2) 基盤事業 [③取引創出・拡大]

## ア) 技術交流会・商談会

- ・ 川下企業等を会場に、会員企業の技術プレゼンや製品提示を実施
- ・ みやぎ産業振興機構と連携し、特に首都圏等エリアの大手川下企業のニーズ収集強化を図るためのニーズ開拓員と県内マッチング専門員を配置し、取引創出・拡大を図る。

区分	みやぎ高度電子機械産業振興協議会	みやぎ産業振興機構
事業名	—	ビジネスマッチング強化促進事業
担当	新産業振興課・産技センター	取引支援課
担当者	事務局員・コーディネーター ・ 参与、高度電子班員5名 ・ コーディネーター2名	ニーズ開拓員・マッチング専門員 ・ ニーズ開拓員 重点分野 2名 ・ マッチング専門員 2名 (県内企業対応)
対象者	高度電子機械産業分野の大手メーカー	重点3分野の大手メーカー及び県内企業間
エリア	(主に) 県内及び隣県エリア	(主に) 首都圏エリア
実施内容	・ 大手メーカーの開発・試作ニーズ収集 ・ 技術交流会／個別商談等実施	・ 大手メーカーの発注ニーズの収集 ・ 受発注企業個別商談会開催(首都圏／県内)

## イ) 個別企業紹介／あっせん

- ・ 事務局で川下企業等訪問や紹介依頼を通じて発注ニーズを把握し、会員企業を個別あっせん
- ・ みやぎ産業振興機構の取引あっせん事業とも連携し、成約率の向上と効率化を図る。



## 3 (2) 基盤事業 [④情報発信]

### ① 宮城県内ものづくり企業紹介サイトの構築

新規

- ・ 令和6年3月1日に、企業ガイドブック第12版を発行
- ・ 令和6年度からは、冊子を廃止し、新たに紹介サイトを立ち上げる予定
- ・ 掲載企業は、みやぎ高度電子機械産業振興協議会及びみやぎ自動車産業振興協議会の会員とする。
- ・ 12月構築～3月公開を目指し、当初掲載企業は「企業ガイドブック12版」及び「必冊！みやぎの仕事人2022」掲載企業とする。

### ② HP・メーリングリスト等々による会員への情報発信

継続

- ・ 会員企業に有益な各種情報(セミナー、展示会、補助金等)をHPやメールで発信
- ・ 協議会事業のみならず、関係機関・団体、学術機関等の情報も収集、随時発信

### ③ 会員企業の基盤技術の情報提供

- ・ 会員企業の基盤技術に応じて、受注獲得が見込まれる川下企業等へ随時発信

## 3 (2) 基盤事業 [⑤他団体との連携]

### ア) 産学連携での共同研究、会員企業と学術機関とのマッチングの推進

- ▶ 学術機関のシーズ・ニーズを随時収集し、会員企業とのマッチングの機会を創出
- ▶ 実証実験等への会員企業の参画促進
- ▶ 研究や実証等で学術機関に出入りする大手メーカーとの交流・マッチングの機会を創出
- ▶ 県補助メニュー等も活用した産学連携による共同開発・製品化の促進

### イ) 学術機関による技術課題等の解決支援

- ▶ (継続)「KCみやぎ」による課題解決支援
- ▶ (継続)「東北大学地域産業支援アドバイザー制度」による課題解決支援
  - ・ 学内教授 50名にアドバイザーを委嘱  
(分野:ものづくり・評価／デザイン／部品デバイス／農学／経営指導／医工等)
  - ・ 企業 ⇒ 自治体 ⇒ 大学のフローで課題対応

### ウ) 東北大学とのセミナー・講習会の共同開催

### エ) 学術機関で保有する開放機器のリスト化と会員企業への情報提供

- ▶ 東北大学を中心に試験・分析機器等の開放機器を調査・リスト化し、会員企業の利活用を促進

### オ) 学術機関との情報共有化・交流促進

- ▶ 展示会出展情報や学会等の情報を相互に共有し、会場内で学術機関と会員企業との交流促進

### カ) 産業支援機関・団体等との連携強化

- ▶ みやぎ産業振興機構・みやぎ工業会等と連携し、効率的・効果的な事業を展開  
(新分野・新市場への進出に積極的な若手経営者のネットワーク形成支援など)

## 3 (2) 基盤事業 [⑥人材育成]

### ア) 次世代リーダー育成支援事業の推進

新事業への進出やデジタル技術の活用による生産性向上といった戦略的経営に取り組むリーダーの育成に向け、次期後継者や管理職層を対象とした次世代リーダー育成支援事業を実施

### イ) みやぎ高度電子機械人材育成センターによる技術研修の実施

理工系大学、高専学生を対象とした実践的な研修による若手技術人材育成・確保

- ・ 研修名称 みやぎエンジニア夏期セミナー
- ・ 研修期間 令和6年8月19日～8月23日（5日間）
- ・ 受講者数 40名（予定）
- ・ 主な内容 学術機関施設見学／エンジニア体験実習／みやぎ高度電子機械関連企業の紹介／エンジニアカフェラウンジ
- ・ 対応企業 東北大学マイクロシステム融合研究開発センター、アイリスオーヤマ(株)  
東京エレクトロン宮城(株)、リコーインダストリー(株)、リコーテクノロジーズ(株)

### ウ) 半導体関連産業人材の育成・確保

直接的な人材育成策に加え、育成した人材の地域への定着・確保に向けて、保護者等、地域全体で半導体関連産業を支える雰囲気醸成するとともに、首都圏からのUIJターン希望者向けセミナーの開催や、半導体関連産業との産学連携にも取り組む。

- ・ 半導体人材育成関係機関 連絡・調整会議の設置、運営
- ・ 一般(大学・高専生)、初学者(高校・専門学生)対象の半導体実習&見学ツアーの開催
- ・ 主に小中学生やその保護者を対象とした地域理解醸成事業の開催
- ・ 半導体関連産業を分かりやすく紹介できるツール(動画や冊子等)の作成
- ・ UIJターン希望者等を対象とした首都圏セミナーの開催
- ・ 半導体関連産業産学連携推進テーブルの設置、産学連携交流会・産学連携推進ツアーの開催

## 3 (2) 基盤事業 [⑥人材育成]

### エ)ものづくりカレッジプロジェクト推進費(富県宮城推進室)

工学系の県内大学と連携しながら、県内ものづくり産業を支える人材の確保や、県内定着を図るとともに、学生の職業観・勤労観を共有することで、県内ものづくり企業の職場環境の改善を促そうとするもの。

- ・ 主な内容
  - (1) ものづくりカレッジ設置運営
    - イ 産学官の連携を担う設立委員会等の設立準備・運営
      - ※ 設立委員会等の役割:学生と企業をマッチングさせる取組のコーディネート
    - ロ 大学訪問・企業訪問等
  - (2) 大学人材県内定着促進モデル事業  
県内大学と産業界が連携した大学人材の県内定着に資するモデル事業を実施
    - 1・2年生を対象とした、企業研究、企業説明会(R6)
    - 主に3年生を対象とした、インターンシップ(R7~)

### オ)産業デジタル中核人材育成事業の実施(産業デジタル推進課)

県内中小企業におけるデジタル活用人材の育成

- ・ 主な内容
  - (1) 経営課題整理
  - (2) 経営層及び中核人材向けの人材育成の実施
    - イ デジタルリテラシー向上講座
    - ロ デジタル技術利活用講座(製造部門/営業部門/管理部門)

### カ)産業デジタル専門人材育成事業(仮称)の実施(産業デジタル推進課)

県内中小企業においてデジタル化を進める上で実働となる、より専門的な技術力、企画力を持つ人材の育成

- ・ 主な内容
  - (1) モジュール科目スクーリング
  - (2) DXアイデアのPoC作成支援

## 3(2) 基盤事業 [⑦その他]

### ア) みやぎ高度電子機械産業振興アドバイザー派遣

県内企業等からの要請に基づき、必要に応じてアドバイザーを派遣  
(アドバイザーの主な業務)

- ・ 県内企業等に対する高度電子機械市場参入に向けた指導・助言
- ・ 高度電子機械市場に関する情報収集と県内企業等への情報提供 など

### イ) 工場見学・交流会

- ・ 幹事企業への工場見学の実施
- ・ セミナー後の交流会の開催



### ウ) 薬機法申請支援

- ・ 宮城県保健福祉部薬務課と連携して、県内企業の薬機法申請を支援
- ・ 医療・健康機器分野ADによる医療機器製造販売業許可・製造業登録を含めた薬事対応等の助言を実施

# 3(3) 令和6年度 主要スケジュール

開催月	総会等	基盤事業		
		セミナー	展示会	その他
04				・訪問ニーズ調査
05	幹事会	・営業力強化【全】		・BM／産産連携
06		・半導体基礎【半】 ・営業力強化【全】	・機械要素技術展【全】	
07	総会・講演会・交流会	・3Dプリンター【全】 ・営業力強化【全】		
08	役員ヒア			
09	役員ヒア	・生産改善事例【全】 ・DX(セミナー、ワークショップ等)【全】 ・DX(基調講演、マッチング等)【全】 ・空飛ぶクルマ・ドローン【航】	・メディクリふくしま【医】	
10	WG	・医療機器【医】 ・3Dプリンター【全】	・再生可能エネ産業フェア【エネ】	
11		・半導体【半】 ・航空宇宙【航】		
12	幹事会	・自動化、ロボット【全】	・セミコン・ジャパン【半】	
01		・エネルギー【エネ】	・ネプコンジャパン【全】	・新たな企業紹介 サイト立ち上げ
02		・AI/IoT【全】 ・3Dプリンター【全】		
03	WG			

# 4 令和6年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業

- ・ 県の支援メニューを活用し、技術・試作開発、取引拡大、新分野参入、デジタル化等を推進
- ・ 小規模企業者への配慮を一層進めるため、補助率の嵩上げ(1/2→2/3)等を実施

種別	名称	区分	内容	補助率等
技術 試作 開発 関連	新規参入・新産業創出等支援事業 【成長分野参入支援型】	継続	川下企業、大学等からのニーズに対する試作開発等経費の一部支援 ＜募集期間＞ 4/12～9/27(随時募集)	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限3,000千円
	新規参入・新産業創出等支援事業 【地域イノベーション創出型】	継続	産学官連携による技術・製品開発等の経費の一部を支援(最長2年間) ＜募集期間＞ 4/12～5/31	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限4,000千円
	新規参入・新産業創出等支援事業 【グループ開発型】	継続	産産連携・産学連携のグループの研究・技術開発費用の一部を支援(最長3年間) ＜募集期間＞ 4/12～5/31	補助率1/2 上限10,000千円/年
	医療分野参入促進事業 【試作開発型】	継続	試作開発、薬事対応、販路開拓等、医療・健康機器市場参入を目指して取り組む経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/12～5/31	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限5,000千円
	医療分野参入促進事業 【販路開拓型】	継続	試作開発品の販路開拓に取り組む経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/12～5/31	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限1,500千円
	金属粉末積層3Dプリンター利用補助金	継続	試作開発や自社の生産性向上のために金属3Dプリンターを利用する経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/12～12/6(随時募集)	補助率1/2 ※小規模企業 補助率2/3 上限1,500千円

# 4 令和6年度 県の主な技術開発・取引拡大等支援事業

種別	名称	区分	内容	補助率等
新規参入	高度電子機械産業 国際認証取得奨励金	継続	航空機及び医療・健康機器市場への参入を目指して、JISQ9100、ISO13485等の認証取得経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/1～（随時募集）	500千円 ※コンサル指導有 1,000千円
デジタル化	・ものづくり中核企業AI・IoT導入等支援事業	継続	AI・IoT等を活用した生産性向上、省力化等に向けた技術開発や導入に要する経費の一部を支援 ＜募集期間＞ 4/12～6/28	・県内IT関連企業と連携する場合：補助率2/3 ・県外IT関連企業と連携する場合：補助率1/2 上限10,000千円
	・中小企業等デジタル化支援事業	継続	生産性向上等を目的とした県内中小企業等のデジタル化の取組についてアドバイザー派遣及び導入経費の一部を補助 ＜相談受付期間＞ 5月頃～ ＜募集期間＞ 5月頃～ ＜メニュー＞ 通常枠：デジタル化の取組を支援 発展・展開枠：過去に通常枠を活用した事業者の更なるデジタル化の取組を支援 共同化枠：複数事業者によるデジタル技術を用いた業務の共同化を支援	【通常枠、発展・展開枠】 補助率1/2 上限2,500千円 下限 500千円 【共同化枠】 補助率2/3 上限5,000千円 下限 500千円